

無痛分娩を行う（

）さん

主治医名（ ）

月日	/ ()	/ ()	/ ()
経過	入院当日（14時入院）	麻酔のチューブ挿入後～分娩	分娩後当日
目標	無痛分娩に向けた準備ができる	硬膜外麻酔を使用し安全に分娩となる	子宮の戻りが良好である 痛みが軽減できる
検査 処置	医師の診察があります 診察の結果で、翌日に頸管拡張 （子宮の入り口を広げる）の処置が必要 か判断します	【頸管拡張が必要な場合】 6時半 胎児心拍モニター装着 7時 診察、頸管拡張し、お産室移動 子宮口の状態により陣痛促進剤を開始します	おしもの状態によって縫合があります 直後から骨盤固定の為に、サランを巻きます 
	胎児心拍モニターを装着します	【頸管拡張が不要な場合】 8時頃 診察、お産室へ移動し陣痛促進剤開始	
		10時 麻酔のチューブ挿入 痛みのレベルを確認しながら、麻酔薬を開始します お産室入室後は、胎児心拍モニター、心電図モニターを装着し 頻回に血圧などを測ります 下肢の痺れなど、麻酔の状態を確認していきます	
治療		子宮口の状態により、頸管拡張または陣痛促進剤を使用した 分娩管理を行います 点滴を行います	2時間後くらいまで点滴があります おしもの縫合終了後に麻酔のチューブを抜きます 状態によって内服薬の処方があります
活動	翌日に備えて、早めの就寝をお勧めします	ベット上で 仰向け以外で過ごします（座位、横向きなど）	分娩後2時間はベット上になります 初めて歩く時はスタッフが付き添います
食事	制限はありません	朝から絶食ですが、飲水は可能です 麻酔のチューブを挿入後はゼリーやバナナなどは食べられますので持参してくだ さい。妊娠糖尿病の方は主治医へ相談してください。	分娩が終了したら食事開始（妊産婦食）となります （状態によっては治療食となる場合があります）
清潔	入院前に必ず入浴を済ませて来院してください	麻酔のチューブ挿入中はシャワー浴はできません	タオルで体を拭きます
排泄	制限はありません	硬膜外麻酔開始後は尿意がありませんので 2時間毎を目安に導尿（管で尿をとる）をします	・お産後は2時間後までは導尿です ・初めてトイレに行く場合は、スタッフが必ず付き添います トイレに歩いた時に、ふらつきがなく状態が安定していれば、 その後は自由にトイレに行って構いません ・清潔を保つため、適宜ナプキンを交換しましょう
教育 指導 説明	朝の診察後からお産室で過ごしていただ きます。本やDVD（プレーヤーを準備して います）などが持ち込み可能です。 ※wi-fiはありますが お産室での使用はできません 無痛分娩当日は、朝から分娩まで絶食 （飲水は可）ですが、麻酔のチューブ挿入 後はゼリーやバナナなどの軽食はOKです ので持参してください。妊娠糖尿病の方は 医師へ要相談！	陣痛時は呼吸法を一緒に行います 痛みが強い場合には麻酔科医へ相談し薬剤の調整を 行います	・感染予防のため、授乳、搾乳前は手洗い・消毒を行いましょ う ・痛みが強い時は、スタッフにご相談ください 不安なことや聞きたいことは、いつでもスタッフにご相談ください ・翌日、麻酔科Drの訪室があります
乳房 ケア			毎日乳房の観察を行います 退院までに自らでできるようになるために必要時は 授乳、搾乳のお手伝いをします 